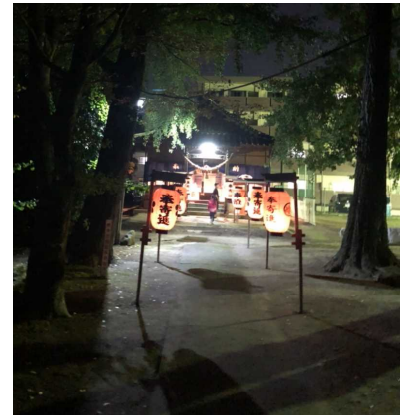


〈第7回〉 御幸西子ども会 「秋祭り かけあんどん」 育成会会長 濱口伸子

10月18日（日）、山田神社の「秋祭りのかけあんどん」の行事を行いました。

「かけあんどん」は古くは加藤清正公の時代より御幸西地域に伝承されて来た祭りで、春と秋に行われ、秋祭りのかけあんどんは収穫への感謝の意味があります。より豊かな生活への努力と、命を養うための食物への感謝が受け継がれてきております。

清正公の帰農令によって、御幸西地域では戦用の軍用米を作っており、清正公も何度も足を運ばれたそうです。当時は水害が深刻だった御幸西地域には、4カ所に水神様が祀ってありました。それが1つに奉られ、山田神社になりました。3月5日の「春祭りのかけあんどん」は、五穀豊穰を願います。



山田神社

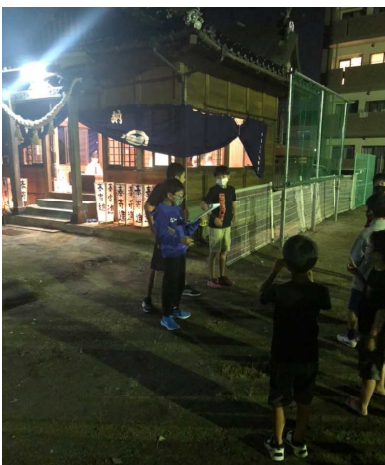


神楽の舞



正殿前の提灯

夜に地域の方々が山田神社に参拝に来られるので、参道を明るくするために、子どもたちが行灯を灯す行事です。小学校1～6年生までの男の子のみで行う行事です。今年は18人が参加しました。



御幸西子ども頭の西谷祐輝君がかけあんどんの説明と注意事項を伝えています。



厳かに みんなマスクをして お参りをします。



奉寄進



今、大人にも子どもにも人気の鬼滅の刃（禰豆子）

1つの行灯には基本的に「正面に習字で奉寄進、左右に絵」と合計3枚貼り付けられています。毎年、絵は男の子達が2枚ずつ描いて製作日に持ち寄り、足りない分は製作日に集まってみんなで描いていました。

習字も同様に製作日に6年生が書いていました。が、今年はコロナウイルスの影響で集まる事が出来なかったもので、絵については必要枚数分を各家庭で描いてもらい、副会長が公民館前に設置したボックスに提出してもらい、それを役員で貼り付け完成させたものです。例年以上に沢山の絵を皆さんが描いて下さったので、今回は特別に習字の所を減らし、提出頂いた絵を全て貼りました。因みに習字は子ども会役員の子供達が書きました。

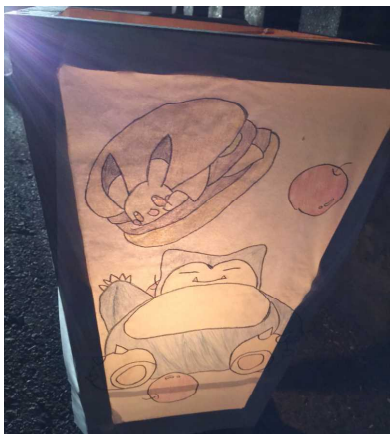


絵の回収箱

（アマビエの絵が描いてあります）

基本的に絵は男の子が描いていますが、枚数の応援で多少は大人が描いたものもあります。特に今年は製作日に集まらない事もあり、枚数を集めるのが難しい為、男の子だけではなくご家族やご兄弟にもご協力頂きました。おかげさまで例年以上に賑やかな「かけあんどん」になったと思います。

今年の干支、キャラクター、疫病除けのアマビエなど大人と子どもの力作揃いの「かけあんどん」です。





子どもたちが描いた
行灯は 30基 です。



御幸西子ども会子ども頭 西谷祐輝(にしたに ゆうき)君のコメント

「コロナウイルスの影響で子ども会活動も難しい中、無事に行う事が出来て良かったです。地域の皆さんを少しでも明るい気持ちに出来ていたらいいなと思います。」

事務局から

事務局長 白石和典

1 お忙しい中に原稿とたくさんの素晴らしい写真有り難うございました。

「かけあんどん」という行事は初めて知りました。古くから御幸西地域に伝わる大切な行事に、子ども会が行灯を作って奉納するという活動は本当に素晴らしいことです。しかも、おそらくずっと以前からの関わりだと思います。代々世話されてきた子ども会育成会の方々が地域の行事を理解され、地域との結びつきを深める努力を継続的にされてきたことに敬意を表します。コロナ禍でも創意工夫して伝統を守り抜く御幸西子ども会の姿勢に感動しました。

2 特に今年は新型コロナウイルスの影響で一堂に会することが難しく、色々苦心されたことと思います。しかし、その逆境が素晴らしいことに繋がったのでしょうか。例年だと男の子だけで集まって行灯の絵を描くでしょう。それはそれで素晴らしいことですが、今年は自分の家で描くことで、家族も行灯の絵に関わりその過程で家族との会話もあり絆も深まったのではないのでしょうか。山田神社の祭りのために家族みんなが一致団結したことでしょう。大人も枚数稼ぎに絵を描くことが出来たようで、子どもたちの手本になったかも知れません。素晴らしい展開になったと思います。

3 この行事は事前の綿密な計画、準備と大変だったことと思います。育成者の支援も大きなウエイトを占めるかも知れません。コロナ禍で回収箱という素晴らしい作品？のアイデアも生まれました。これも逆境の賜物だと思います。子どもの活躍と大人の支援（出番）の融合が素晴らしいです。

御幸西子ども会の益々の発展と子どもたちの健やかな成長をお祈りいたします。